

# H29年度 長野市障害ふくしネット(協議会)情報

Vol.1

発行日：2017年4月18日

今年度第1号のふくしネット情報です。今年度も協議会に関する情報をできるだけタイムリーにお伝えしていきたいと考えております。紙面について、ご意見・ご感想があれば事務局までお寄せください。3月28日(火)に長野市生涯学習センター(ToiGO)にて平成28年度第2回全体協議会が開催されました。今年度の各専門部会・委員会については、昨年度同様、各部会ごとにテーマを設けそのテーマに興味のある人が自由に参加し意見が言える形での運営をしていくこととなりました。今年度の各専門部会・委員会のテーマは5月上旬に担当者打ち合わせ会をし、5月の運営部会で確認をした後、皆さんへ周知していきたいと考えております。今年度もよろしくお願いたします。

## 長野市障害ふくしネット(協議会) 平成28年度 春の 全体協議会 の報告

3月28日(火)、長野市生涯学習センター(ToiGO)にて平成28年度「第2回 春の全体協議会」が開催され、当事者団体、福祉事業所、行政などから約100名の参加がありました。

毎年春の全体協議会では各専門部会、委員会の1年間の活動報告を行なっており、今年度の主な活動報告は次のとおりです。

**【運営部会】(報告者：荒井さん)**…来年度の専門部会の運営について→検討の結果、来年度も今年度同様各部会テーマを決め、テーマごとに参加者を募る形で開催していく方向。

**【施策フォーラム】(報告者：荒井さん)**…今年度課題整理を行ない検討課題は明確になった。来年度は各法人に早い段階で広く周知し、各法人の代表メンバー参加による「ミニ全体協議会」のような形式で検討していきたい。

**【当事者部会】(報告者：長岡さん・成竹さん)**…今年度は新たな取り組みとして「昼夜合同交流会」を実施。一体感が生まれたことは良かったが、課題や困りごとについて議論を深める時間が少なくなってしまった。来年度は話し合う時間も大切にしていきたい。また当事者部会として他の部会への参加も積極的におこなってほしい。

**【かつどう部会】(報告者：久保さん)**…年度当初、施策提言に向けて生活介護事業所が入浴ニーズに応える方法を考えるテーマで検討。生活介護事業所の入浴加算については2018年度の実現に向けて引き続き実態調査などを行なってほしい。

**【くらし部会】(報告者：小山(勝)さん)**…検討するテーマを決めたことで参加者が積極的に意見を出し合い、長野市における課題の抽出・検討ができた。部会の開催頻度は多かったが充実したのでは。来年度は短期入所の稼働状況や、サテライト型GHの実態調査についても検討していきたい。

**【けんり部会】(報告者：駒村さん)**…今年度は障害者虐待防止法の取り組みに加え、障害者差別解消法についての研修も開催した。テーマを決めてオープンな形にした分、継続的な検討の場を設けることが難しかったため、運営の仕方や内容については工夫や検討が必要。

**【子ども部会】(報告者：花石さん)**…今年度は「乳幼児期」と「学齢期」グループに分かれて部会を開催した。もともと子ども部会は部会の中で分かれて検討していたが、開催日が別になることで参加しにくいという意見もあった。また部会の目的を施策に関わる課題を協議する場とするのであれば、深く協議する課題についてはワーキンググループを立ち上げるなどの工夫も必要。

**【しごと部会】(報告者：綿貫さん)**…しごと部会のテーマがその回で結論が出るというものではないため年間を通して議論ができるテーマの設定が望ましい。就労移行のグループでは、労働施策と福祉施策の役割や、現状・課題を共有することを目的に企業懇談会を開催することができた。

**【医療的ケア支援委員会】(報告者：吉澤さん)**…今年度は委員会の努力で「できる」ことから優先し、情報提供・災害時の備えを中心に取り組んできたが、まだまだ課題は山積みで地域の支援体制は追いついていない。来年度については、引き続き医療的ケア支援体制整備に向けて事業所での受入体制を整えられるようにしていく。

**【地域でいこう委員会】(報告者：大日方さん)**…精神科病院との連携について検討を重ねてきたが、今年度は1月と2月に病院関係者の参加もあった。今後も地域移行支援の促進のためにも病院関係者との連携を図ってほしい。また現状入院患者の高齢化も大きな課題となっているため地域包括支援センターとも連携が図れるといい。

**【共に暮らすまちづくり研究会】(報告者：吉池さん)**…今年度は、教育・雇用・地域等の分野にテーマを絞ってのタウンミーティングを4回開催することができ有効な機会ももてた。来年度もより多くの人に集ってもらいタウンミーティングを継続していく一方で、より広い法人からの執行部体制で執行部の負担を少なくしていかれるといい。

**【ケアマネ連絡会】(報告者：小山(多)さん)**…今年度は各専門部会のあり方が変わるということで大勢の皆さんに協力をしていただいた。ケアマネ連絡会の中でも相談支援体制の見直しやふくしネットのあり方について検討を重ねてきた。今後は長野市としての相談支援体制について、行政とともに引き続き検討していく必要がある。

**【指定相談支援事業所連絡会】(報告者：小山(多)さん)**…12月のスキルアップ研修会への参加も含めて毎月開催した。参加者も明確ですべての相談支援専門員にとって必要な内容となっていることもあり、毎回大勢の参加がある。来年度は介護保険との兼ね合いについても内容を入れていきたい。



# 平成28年度 春の 全体協議会 の報告の続き



## 【平成29年度の長野市の事業について…市障害福祉課：海原補佐より】

第四期長野市障害福祉計画(平成27年度～29年度までの3年間)の報告、また平成30年度からの第五期長野市障害福祉計画について、平成29年度から作成準備に入っていく。内容の検討についてはふくしネットにも協力をお願いしたい。

## 【今年度の活動から】

《企業懇談会について》…しごと部会部会長の綿貴さんより報告(詳細は下記参照)

《ふくしネットフェスタについて》…実行委員長の宇野さんより報告。今年度は当事者団体や事業所、障害福祉課にも協力してもらい実行委員会を組織し準備を始めた。当日は1階広場では8つの事業所の製品販売、当事者団体や事業所による歌やダンスの発表、4階では通所施設説明会を開催した。新たな取り組みとして障害のあるお子さんが放課後や休日に利用できる施設もブースに参加した。1日を通し大勢の方に来場していただいたが、説明会のあり方については課題も残ったため、運営部会でも検討していきたい。ふくしネットフェスタ自体は、来年度も実行委員会形式で準備をすすめ、障害についての理解促進、普及啓発の目的のもと開催していきたい。

## 【長野市より】

- (1)障害者差別解消法施行後の経過…海原補佐(市障害福祉課)・仲里相談員より報告。市では要領を作成し、管理職研修、窓口対応職員の研修を実施。また長野市差別解消連携協議会を開催した。パンフレットも当事者向けと事業者向けの2種類を作成した。
- (2)地域生活支援拠点事業等の整備について…藤田補佐(市障害福祉課)より、2月16日の説明会についての報告あり。

Pick Up!

長野市障害ふくしネット(協議会) しごと部会主催

## 「第1回 企業懇談会」を開催しました!

『私たちは障がい者雇用を応援します～働く障がい者を応援します。障がい者雇用をしている企業も応援します～』をテーマに、3月10日(金)長野市役所第2庁舎10階講堂にて第1回企業懇談会を開催しました。懇談会の通知の発送が遅れてしまいましたが、当日は企業より16社22名、医療・福祉関係者41名、学校から3名、行政から7名の計73名と大勢の参加があり、特に企業からの障がい者雇用への関心の高さを感じました。

## 【障がい者雇用に関係する各機関からの発表とグループワーク】

### ①池田知恵氏(長野圏域障害者就業・生活支援センター)より

障がい者雇用の現状や自閉症と知的障害のある人の事例を通した生活支援の報告。

### ②宮崎千夏夫氏(長野公共職業安定所)より

ハローワークにおける障害者の就労支援、雇用関係の各種助成金についての説明。

### ③企業・当事者より

- (1) 大日本法令印刷株式会社より 田中淳氏(総務課総務部 次長)、  
藤澤美和子氏(総務課)、中澤明香氏(プリプレス課)
- (2) キヤノン株式会社より 竹之内雅典氏(インクジェット事業本部)



当事者である中澤さんからは、仕事に関して今までエネルギーをすべて使い果たすまで頑張りすぎて長続きしなかった自分が浮上ってきたエピソードや、今仕事が続いているのは、プライベートな相談もできる同僚や上司の存在と、時にブレーキをかけてくれる職場の環境があるということもお話されましたが、敢えて長期の目標を設定せず『今日行くだけ行ってみよう』の積み重ねという言葉が印象的でした。大日本法令印刷の田中さん、キヤノン株式会社の竹之内さんからは、共通して職場での実習が重要で、加えてトライアル雇用での見極めを重視するという話がありました。採用条件の中には、自分で体調をコントロールできることや強い労働意欲、社外に支援者がいるかどうかにも留意するという点で、参加された企業や福祉関係者は、採用や就労支援においてとても参考になったのではないかと感じました。また後半のグループワークでは、企業・支援者が同じテーブルでお互いに課題と感じていることなどを話し合いました。普段企業の皆さんと共通の話題で話し合う機会があまりなかったこともあり、とても有意義な時間となったと思います。ぜひ来年度以降も継続し、企業と福祉のつながりをより活発にしていくことで、障がい者雇用も進んでいくのではと感じました。

